

PwC Denmark

スケールメリットによって、デンマークの自治体は最先端の NetIQ Identity and Access Management ソリューションにアクセスしてセキュリティコンプライアンスを向上させています。



PwC について

PwC は、社会で信頼を築き、重要な問題を解決することを目的としています。ますます複雑化する世界において、PwC は、資本市場、税制、ビジネスや社会が存在する経済システムなど、複雑なシステムが機能し、適応し、進化することで、コミュニティや社会に利益をもたらすことができるよう支援しています。

共有することがデンマークの自治体にとっての福祉

デンマークでは、100 近くの地方自治体が、教育から医療、保育、高齢者支援まで、市民のあらゆるニーズに対応しています。これらの組織は、国の社会構造を支え、市民への効果的な給付や年金支払いを促進するため、国家レベルで最大 30 のシステムと統合する必要があります。PwC Denmark のエンタープライズ ID およびアクセス管理担当シ

「NetIQ Identity Governance と NetIQ File Governance がフレームワークの一部となることで、自治体はユーザーの権限を便利かつ簡単に確認できるようになり、セキュリティコンプライアンスと透明性が大幅に向上しました」

Nicolai Jensen 氏
エンタープライズ ID およびアクセス管理担当
シニアアーキテクト
PwC Denmark

ニアアーキテクトである Nicolai Jensen 氏は、ここに大きなチャンスを見出しました。「各自治体は非常に類似した要件を持っていることがわかりました。これらの自治体はすべて公共インフラストラクチャに統合する必要があります。各地の組織は、通常の給与計算や人事、その他のバックオフィス要素など、どこも同じような構造になっています。自治体は IT がコアコンピタンスではないため、各自治体では通常、IT リソースが不足しています。PwC は多くの自治体と連携して、すべての統合ポイントを提供するフレームワークを共同で設計しました。共同開発のプラットフォームを共有することで、新たにこの連携に参加した自治体は、2 万時間を超える知的財産 (IP) というメリットを得ることができます」

市民データ、特に社会福祉関連のデータは機密性が高く、極めて慎重に管理する必要があります。PwC は OpenText™ と提携して、堅牢な ID およびアクセス管理ソリューションを構築しています。NetIQ Identity Manager by OpenText™ では、一元化されたリアルタイムビューにより、さまざまなアプリケーションやシステムにまたがるアカウント情報とアクセス権を確認できます。NetIQ Access Manager by OpenText™ では、すべての自治体ユーザーがシンプルなシングルサインオンとアクセス制御環境を利用できます。「NetIQ by OpenText™ ソリューションの柔軟性を高く評価しています」と、Jensen 氏は語ります。「自治体によってプロセスは若干異なりますが、NetIQ Identity Manager ではそうしたプロセスを複



概要

業種

コンサルティング

所在地

デンマーク

課題

デンマークの自治体が専門知識を必要とすることなく、高度な ID およびアクセス管理を活用できるようになる、共通のフレームワークの作成

製品とサービス

NetIQ Identity Manager
NetIQ Access Manager
NetIQ Identity Governance
NetIQ File Governance

成功ポイント

- 生産性の向上により数千時間の節約につなげ、その時間で市民サービスへの取り組みを強化
- 監査プロセスの効率化
- セキュリティコンプライアンスと透明性の向上
- 既存のプロセスを複製できる柔軟なソリューションによりユーザーの利用率を大幅に促進

「NetIQ Identity and Access Manager は、イベント駆動型であることが気に入っています。つまり、定期的な更新を待つのではなく、変更が発生した時点でそれを検出することができるのです。データの機密性が非常に高いため、そうでなくては困るのです」

Martin Oldin 氏

アーキテクチャおよびインフラストラクチャ担当チームリーダー

Lyngby-Taarbæk 自治体

お問い合わせ

www.opentext.com



製できるため、運用を開始しやすく、ユーザーへの導入も容易です。NetIQ Access Manager では、ユーザーを確実に正しいポリシーとロールに関連付けることができます」

Identity and Access Manager により大幅な生産性向上を実現

Lyngby-Taarbæk (LTK) 自治体のアーキテクチャおよびインフラストラクチャ担当チームリーダーである Martin Oldin 氏は、この共有フレームワークを活用しています。「PwC がこの取り組みを始める前は、他のすべての自治体と同様に、自分たちで独自のソリューションを設計して開発する必要がありました。それは非常に高コストで、手間と時間を要するものでした。リソースを統合して規模の経済を生み出し、PwC の専門知識を活用することは、非常に役に立ちます。ユーザープロビジョニングだけで、毎年約 400 人分の時間が削減されています。NetIQ Identity and Access Manager は、イベント駆動型であることが気に入っています。つまり、定期的な更新を待つのではなく、変更が発生した時点でそれを検出することができるのです。データの機密性が非常に高いため、そうでなくては困るのです」

Oldin 氏は続けて次のように述べています。「私たちはユーザーのデプロビジョニングにも問題を抱えており、LTK を離職した人間が何年もの間、システム内で有効なアカウントを保有している可能性があります。これは明らかにセキュリティ上のリスクでしたが、新しいフレームワークではこのプロ

セスが完全に自動化されたので胸をなでおろしています」

PwC と NetIQ by OpenText™ による新しいフレームワークは現在、約 5 万の自治体ユーザーが数十万人のデンマーク国民にサービスを提供するために使用しています。以前は、個々の自治体が 1 つの国のシステムを統合するのに最大 100 時間を要することもありましたが、現在では、PwC がサポートする十分に実績のある年中無休のインフラストラクチャにより、わずか 1~2 時間で済んでいます。「PwC のフレームワークを使用する前は、定期監査とは、さまざまなシステムからデータをエクスポートしなければならない時間のかかる作業でした」と、Oldin 氏は述べます。「今では、NetIQ Identity Manager でレポートを作成すれば、システム間でデータがどのように移動し、どのワークフローが関与しているかを正確に示すことができます。1 か月かけて監査官と作業をする必要がなくなり、わずか 2 週間で報告書の作成を完了させられるため、生産性が 50% 向上しました」

NetIQ Identity Governance によるセキュリティコンプライアンスと透明性の向上

参加自治体からの意見を受け、PwC は継続的にフレームワークの強化に取り組んでいます。最近では、NetIQ Identity Governance および NetIQ File Governance を追加しました。これらは ID ベースのポリシーを使用して、データストレージのプロビジョニング、権限の割り

当て、アクセス制御を自動で行うように設計されています。また、このフレームワークを活用して、ユーザープロビジョニングを迅速化し、IT リソースを解放することもできます。「NetIQ Identity Governance と File Governance がフレームワークの一部となることで、自治体はユーザーの権限を便利かつ簡単に確認できるようになり、セキュリティコンプライアンスと透明性が大幅に向上しました」と、Jensen 氏は述べています。

管理者はスタッフの権限を容易に確認することができ、あるユーザーに特定の権限を持たせるべきではないと判断した場合には、ワンクリックの「取り消し」操作でこれを実行する自動ワークフローを開始できます。人手を介する必要はありません。「私たちは、新しいフレームワークを使用することで自治体がどれほどの節約を達成できたのか、自治体パートナーから話を聞きましたが」と、Jensen 氏は締めくくります。「ある大規模な自治体は、新規ユーザーが適切なシステムにアクセスできなかったり、業務開始時点でユーザーアカウント自体がまったく用意されていなかったりしたために、平均して 10% の生産性低下を招いていたと見積もっています。この自治体の場合、NetIQ (現在は OpenText グループ) 主導のフレームワークを使用して生産性が向上したことにより、年間 42,000 人分の削減につながり、今ではこの驚異的な時間を、市民に効果的にサービスとサポートを提供するために費やすことができるようになっていきます」

opentext™ | Cybersecurity

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスに至るエンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。